

卒業論文体験談

1. はじめに

卒業論文提出までいよいよ残り一か月となりました。進捗状況はいかがでしょう。指定分量をほぼ書き終えた人もいれば、未だにほぼ手付かずという人もいるかもしれません。私自身、ちょうど一年前を思い返しますと、ひたすら論文提出に向けて試行錯誤を続けていました。今回は、私の反省点もふまえつつ、卒業論文作成におけるアドバイスできればと思っています。

2. 本文を書くにあたって

- ①接続詞や指示語に注意して、論が破綻しないように注意する。
- ②論文で何を明らかにするのかに注意し、各章の問題点を明確にして論点がずれていないかを確認する。
- ③資料はできるだけ多く活用する。
- ④用語を正しい意味で理解・使用できるように、辞書で確認する。
→使う場合によって、適当な辞書が変わる場合があるので注意する。
- ⑤引用は正しい方法で行う。

3. 体裁に関して

書式の関係上、枚数が超過してしまう可能性があります。はやめに書式設定することをお勧めします。 → 『卒業論文作成マニュアル』を熟読。

※文字数が足りていたとしても、書式が間違っていると受理されません。

提出会場において厳しいチェックがあります。

4. その他

- ①論文が形になってから時間がかかるので、できるだけはやく完成させましょう。
- ②お正月は京都におられない先生方も多いので、直接相談ができなくなります。

- ③自分ではわかっているけど、他人にはわからないことが多々あります。友達に意見をもらいましょう。よりよい論文になると思います。
- ④データは複数の場所に保存しておきましょう。
- ⑤はやめに印刷しましょう。パソコンの画面ではわからなくても、紙になると誤字脱字が見つかりやすいです。
- ⑥もし文字が超過したとしても、すぐに消すのではなく、註を活用しましょう。

5. 口述試問に関して

卒業論文は出して終わりではありません。近々副審の先生が発表され、2月には口述試問が行われます。さまざまな角度からの質問に答えることができるようにしておきましょう。

- ①なぜ書こうと思ったのか、論文全体また各章において何を述べたいのか、何を明らかにするのか等、論文の意義をはっきりさせておきましょう。
- ②引用箇所では、引用意図を明確にしておきましょう。その為に引用文の意味、読み方を確実におさえておきましょう。

6. 終わりに

卒業論文の提出期限は、前々から決まっており、就職活動や教育実習は言い訳になりません。せっかく書くのであるから、よりよい卒業論文になるように頑張ってください。四年間の集大成として満足のいく論文になるよう、体調に注意しつつ最大限に力を発揮して頑張ってください。